

質問書に対する回答6

件名) 首都圏中央連絡自動車道 神崎大栄舗装工事

番号	質問箇所	質問事項	回答
1	積算基準について	本工事は令和6年度の歩掛、及び経費率を採用していますでしょうかご教示願います。	積算基準については参考積算条件書にて公表いたします。
2	特記仕様書P37 27-4-1 用排水溝の種別表 PSt・φD(A)	金抜設計書番号10のPst・φ0.30(A)は歩掛、材料とも令和6年度の積算基準より新設された円形水路φ300(真円)の標準単価と考えてよろしいでしょうか。	標準単価の適用は想定していません。(見積による算定を想定しております。)
3	金抜設計書 番号46 下層路盤A(t=15cm)(夜)	当初積算において、材料について夜間現場着単価で計上されていると考えてよろしいでしょうか。それとも仮置きして夜間小運搬を計上されていると考えてよろしいでしょうか。また、小運搬の場合は運搬距離の設定についてご教示願います。	夜間現場着単価で計上することを想定しております。
4	特記仕様書P39 27-5-2 アスファルト混合物	特に記載はありませんが、金抜設計書番号51～65のアスファルト混合物の内、ホットジョイントはどの項目で計上されているかご教示願います。	金抜設計書番号55～63に含むものと想定しています。
5	特記仕様書P39 27-5-2 アスファルト混合物	金抜設計書番号52～54の高耐久上層路盤工の採用歩掛は加熱アスファルト安定処理路盤工と同一と考えてよろしいでしょうか。	同一の歩掛と想定しています。
6	金抜設計書 番号163 路面標示消去B、路面標示消去B(夜)	区画線幅は20cmですが、数量の2,846m及び5,686mは15cmの換算値と考えてよろしいでしょうか。	特記仕様書27-11-2に示すとおり区画線幅は20cmで、数量はその延長となります。
7	金抜設計書 番号21～24 5-(1)用排水溝RG(P)	金抜設計書 番号21 5-(1)用排水溝RG(P)0.50・0.10、番号22 5-(1)用排水溝RG(P)0.50・0.10(F)、番号23 5-(1)用排水溝RG(P)0.70・0.15、番号24 5-(1)用排水溝RG(P)0.70・0.15(F)について、特記仕様書P37にプレキャストコンクリート製ロードガッターと記載があります。プレキャストコンクリート製ロードガッター0.50・0.10及び0.70・0.15の製品単価をご教示いただけないでしょうか。また、積算基準に無いため、当初計上歩掛りとしては、プレキャストU排水溝2m1000kg/個以下でお考えでしょうか。また、床掘・埋戻しについては、計上されていますでしょうか。	積算に使用する個別の材料に関する問合せには応じられません。また、施工歩掛についてはプレキャストU排水溝2m1000kg/個以下で考えております。なお、床掘・埋戻しは不要と考えています。